

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

## 1 施設名

横浜市大豆戸地域ケアプラザ

## 2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

圏域人口約 64,000 人、高齢者人口 12,000 人、介護保険認定者数は要支援者 562 人、要介護が 1,637 人と年々増加傾向にあります。要支援者は約 400 人がサービスの利用をしており約半数が要支援 1 と早くから介護保険サービスを利用する地域です。

地域は、大豆戸、菊名、新横浜、大倉山、篠原北、錦が丘とそれぞれに地域性があり各地域の特性や状況に合わせてのアセスメント、支援が必要になっています。

地域のサロンなどのインフォーマルな活動よりも公的な介護保険サービスなどを利用する方が多いエリアです。今後も住民の年齢分布状態から読み取っても、さらに要介護認定者が増加していくことが予測されます。高齢世帯、単身世帯、認知症の方の増加から地域で継続して生活をしていくことが難しいケースが増え続けることが予測されます、地域住民同士がお互いに支える仕組みを作っていくためのサポートが必要です。

#### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

福祉相談窓口は、担当者が不在にならないよう勤務調整を行い、速やかに相談対応・情報提供できるよう努めてまいります。また、地区社協の定例会議、民児協定例会等へは必ず職員 1 名が参加できるよう調整を行い、地域の状況、環境等について情報収集を行ってまいります。

月に 1 回、区役所担当者との定例カンファレンスを実施し、個別ケースの対応事例について相談、情報共有を行ってまいります。

#### (2) 各事業の連携

毎朝朝礼を行い、各自の業務内容について情報共有を行います。また月に一度、包括 3 職種、地域活動交流、生活支援合同での 5 職種会議を開催し、各部門の取り組みや課題について共有、連携をしていきます。

多職種で連携し、地域や学校を対象とした認知症サポーター養成講座の開催を行ってまいります。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

法人内外で開催される研修・勉強会への参加を支援します。また、研修参加者を講師とした、内部での伝達研修を実施することにより、OJT教育の徹底、全職員の専門性・総合的な能力の向上に努めてまいります。

お客様が事業所選定等をする際、適正な事業者情報を提供し公正・中立性が確保し、研修や会議を通じて職員が意識をもてるように指導していく。

### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

「ひっとプラン港北」第三期の3年目として、中間までの取組結果を振り返り、後期に向けての活動支援を実施していきます。また、会議・地域行事などに出席し、関係性の構築と継続、地域資源の発掘に取り組んでまいります。

地区社協推進委員会および定例会議への出席をしていきます。また、地区社協や地域住民が主催で開催する行事へ参画し、ケアプラザの周知や関係性の構築に努めてまいります。

### (5) 区行政との協働

毎月地域定例カンファを開催し、港北区役所の福祉保健課職員と港北区社協職員と情報交換を行い、ケアプラザの役割を確認し地域の課題解決に取り組んでまいります。また、区・区社協と共に「ひっとプラン港北」の区計画・地区計画の推進を行い、地域支援を実施していきます。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

高齢者、障がい者、子育てなどの領域の他、幅広い年代を対象とした事業を企画してゆきます。主に、これまでケアプラザ利用の機会が少なかった小学生を対象とし、休日や夏休み、冬休みなどの長期休暇を使用した、工作教室、書初め教室などの事業を開催いたします。

また、参加者が主体性を持って、活動や事業への参加ができるよう、関係者・支援者・ボランティアと協力し、事業の自主化や貸室団体登録への促し、支援を行っていきます。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

貸館利用を希望する団体・個人へ、活動内容・利用希望日等を十分にヒアリングし、貸室団体登録や、その活動への支援を行います。また、活動内容に応じて、ボランティアなどの福祉保健活動への参加や企画を促し、活動への支援を通して、支援者となり得る人材の確保を行っていきます。

年に1度、貸室利用に関する説明会を登録団体対象に開催し、円滑な施設運営や利用ができるよう整備していきます。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

月に一度ボランティア連絡会を開催し、自主事業へのボランティア依頼、研修会、見学会の企画・実施を行います。また、新規ボランティアの獲得と育成を目的として、よこはまシニアボランティアポイント登録研修会や初心者向けのボランティア講座を開催します。また、ケアプラザだけではなく、他の介護施設や地域の活動拠点など、活動場所の紹介やコーディネートを行います。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

連合町内会の行事・地区社協定例会・民児協定例会に出席し、各地域での取り組みや課題などについて情報収集を行います。また、地域住民主催の事業へ参加をし、情報収集を行うとともに、地域及びケアプラザ事業の情報提供を行います。

地域の子育てサロンなどを訪問し、実施状況の把握とケアプラザ及び他のサロンに関する情報提供と共有を行います。また、各サロン運営を行う支援者との関係構築を図っていきます。

隔月発行を行っているケアプラザ広報紙の他に、地域の掲示板やケアプラザのホームページ・ブログの更新により、幅広い情報媒体を利用した、情報の提供を行っています。

## 3 生活支援体制整備事業

### (1) 事業実施体制

月に一度、五職種会議を開催し、課題、今後の方向性を共有し連携を図り地域包括ケアシステムを構築してまいります。

また、月に一度、区、区社協との定例カンファレンスで、必要時に円滑な連携ができるように情報交換を行ってまいります。

### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

継続して地域活動に出向き、情報収集し資源の把握をすると共に、地域住民または支援者からニーズの聞き取りを行ってまいります。そして、地域の方々とニーズの共有をし、現在ある地域活動の発展、または新たな活動を創出に繋がられるように地域の方々との関係を構築していきます。

### (3) 連携・協議の場

現在ある協議体を継続して支援すると共に、新たな協議体ができるように、地域ケア会議や民児協、事業を通して地域住民または支援者に地域の現状をお伝えし、地域の方々がお互いに支えあっているように働きかけてまいります。

### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

関係機関と連携を深め、情報の共有化を図り、お互いの役割を理解し活動を行います。

また、地域での活動を把握して、活動の範囲を広げるために必要なときは、各必要機関と密に連携できるよう配慮します。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

行政機関や民生委員、介護保険サービス事業者、インフォーマルサービス等の事業者と共に地域の情報収集を行います。地域住民が、住み慣れた自宅で暮らし続けられるように、情報を関係機関で共有し、地域のネットワークを構築していきます。また、地域課題を抽出、検討するために地域ケア会議を開催します。

#### ②実態把握

行政機関や地域の関係者（民生委員など）、介護支援専門員とのネットワーク構築に努め、カンファレンスや地域での話し合いを開催します。密接な連携と情報共有を図り地域のニーズ把握に努めます。ケアプラザで相談を受けるだけでなく、ケアプラザに来られない方たちのために地域に出向き、出張相談会を開催し、実態把握に努めます。

#### ③総合相談支援

相談窓口においては、高齢、障がい、子ども、医療等の各分野の制度や情報の収集は日頃から意識し、担当者が不在にならないよう勤務調整を行い、速やかに提供できるよう努めます。

相談窓口はもちろんの事、民生委員の会合への出席や出張相談会を通し、地域の高齢者の心身の状況や生活環境の把握に努めます。

内容が多岐にわたる相談には、区との情報共有を随時行い、連携した対応が行えるよう、毎月の区との定例カンファレンスではケース会議を実施します。

地域の拠点に出向く相談会は、大豆戸・新横浜地区に関して継続して行い相談時には早急かつ丁寧な対応を図っていきます。傾聴をしっかり行い、ご本人様や家族に寄り添う対応を心がけます。

また、求められている情報提供を速やかに行っていき、必要時は区や関係機関の連携を円滑に行っていきます。区役所との情報共有を常に行うことで連携強化を続けていきます。

月平均225件の相談件数を3職種連携して対応していきます。また、生活支援コーディネーターとの連携により地域資源への連携や活用を図っていきます。

民生委員や地域と日頃から関わっていくことで情報提供をしていただき、問題の早期発見を継続していきます。また、独居や問題を抱えている方は後追いケースとして継続的に見守りしていきます。

### (2) 権利擁護業務

#### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

成年後見制度に関する相談に対しては専門家と連携をとりながら関わらせていただきます。また、医療ニーズの高い方に関しては医療機関の協力のもと、早急対応できるよう連携強化を図っていきます。

各地区（4民児協）にて成年後見制度の講座を開くことで普及啓発も図っていきます。

また、シニアクラブや町内会館、コミュニティハウスなどで講座を開き、地域住民の方々へ理解を深めてもらいます。弁護士、行政書士による無料相談会も年に1回開

催予定です。

区役所と共同で成年後見に関するチラシを作成したので、必要な方にはお配りします。

## ②高齢者虐待への対応

虐待ケースには慎重かつ丁寧に区や関係機関とチームとなって関わっていき、カンファレンスの場を設け連携に努めています。

区役所とは虐待専用の相談用紙と起案を作成することで、早期に情報共有し、継続的な関わりを行っていきます。

虐待の早期発見・早期介入を目指し、居宅介護支援事業所やサービス事業所に3ヶアプラザ合同で虐待防止ハンドブック研修を随時行っていきます。

また、民生委員などの情報提供をいただけるように連携強化を続けていきます。

## ③認知症

認知症に関する相談には早急対応させていただきます。医療的介入が不可欠なため、横浜市総合保健医療センター等との連携強化も引き続き行っていきます。

必要時は認知症初期集中支援チームへ相談をあげ、連携していきます。港北図書館においてはキャラバンメイトと共同で認知症ブースの拡充を図っていきます。

各地区にて認知症サポーター養成講座を開催していき、エリア内で要望があれば随時開催いたします。また、キャラバンメイトによる独自開催も支援していき、学校や学童保育での開催もできるようアプローチしていく予定です。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

民生委員とケアマネジャーがスムーズな連携を図れるように支援を行ないます。

民生委員や地域の方が行っている活動やインフォーマルなサービスをケアマネジャーに向けて紹介していきます。

希望者には事業の見学や体験など実際に参加していただき顔の見える関係を構築していきます。

生活支援コーディネーターと連携して地域情報の収集に努めます。

### ②医療・介護の連携推進支援

医療と介護の連携がスムーズに行えるように各機関と連携を深めていきます。協力医による医療相談、フォレストクリニック院長による医療講座、しんよこメンタルクリニック、新横浜在宅クリニックとの勉強会を開催していきます。

また、高齢者支援ネットワークにも引き続き参加し情報の共有等を図っていき、エリア内の医療機関、薬局に広報誌とケアプラザの案内を訪問して配布します。

### ③ケアマネジャー支援

要支援委託ケース（180件ほど）の担当者会議に参加することで、ケアマネジャーとの顔の見える関係構築を図ります。

ケアマネジャーとのやりとりの中で研修や勉強会のニーズ把握に努めます。また、介護保険制度が複雑になるなか、タイムリーな情報の収集に努め、ケアマネジャーからの相談に対応いたします。

支援困難ケースの相談に関しては、同行訪問も含め、相談内容により三職種で専門性を生かして対応します。

エリア内の居宅介護支援事業所にインフォーマルなサービス、サービスBを紹介していきます。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

区役所、居宅介護支援事業所、警察、消防、民生委員、医療機関、訪問看護、薬局等関係機関と連携して地域ケア会議を開催します。

多問題を抱えるケースでは、地域でどのような支援ができるかを検討していきます。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

お客様のできることを共に発見し、地域のつながりを維持しながら、有する能力に応じた柔軟な支援を行い、自立意欲の向上に繋げていくよう支援します。

介護予防支援計画は生活機能の低下が生じた原因に対応し、且つ効果がみられるものとしします。

お客様の介護予防支援計画を作成するに当たり、いつまでに達成できるかがわかるように、具体的な目標をたてます。

プラン作成時は、サービスの実施状況や効果を評価し、横浜市介護予防・日常生活支援総合事業も含めお客様、ご家族の要望をお聞きしてサービスの内容の見直しをします。

#### (6) 一般介護予防事業

##### 一般介護予防事業

高齢者を対象に住み慣れた地域でいきいきと元気に過ごせるよう、ロコモティブシンドローム予防、膝、腰痛予防体操と口腔、栄養プログラム、認知症予防のスクエアステップ、スリーAなどを開催します。また、今年度は特に男性が参加しやすいように、男性限定のプログラムとして男性の自立のための料理教室&健康講座として、2クール開催します。

地域活動のボランティアの方々、高齢者を支える支援者の方々が元気でいられるための、ダンス教室を月1回開催します。

大倉山元気づくりステーション、元気づくりステーション菊名の後方支援、まめゆる一む、スクエアステップ、元気づくりステーションへ、地域リハビリテーション活動支援事業からリハ職を年1回派遣して支援者への指導等を行い、通いの場の充実を図ります。

## その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

ケアプラザは、高齢者、障がい者、乳幼児等、心身の状態が不安定な方も含めて、地域の様々な方が利用されます。建物の空調設備、電気設備、消防設備、自動ドア、エレベーター等の保守点検を定期的に行い、安全確保と設備が正常に作動することを最優先の上、館内の清掃及び消耗品の補充等を行い、地域の皆様が快適に安心して施設を利用し、サービスが受けられるよう、施設の維持管理に努めます。

#### イ 効率的な運営への取組について

当法人が指定管理にて運営しているケアプラザが 20 ヶ所というスケールメリットを生かして、それぞれのよいところを吸収しあいながら事業を展開します。

地域ケアプラザの労務、経理、介護保険請求事務等の事務処理に関しては、法人本部と連携し法人内の全ケアプラザの事務担当会議を定期的を開催し、情報交換をし、効率的な事務処理に努めます。

使用頻度の高い消耗品類は、法人全体で調査し、できるだけ低価格の業者を選び、コスト削減に努めます。

#### ウ 苦情受付体制について

法人で苦情解決規則を定めており、それに基づきケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応します。

ケアプラザ玄関脇の職員から見えない場所に意見箱を置き、自由な意見を出しやすいようにします。苦情を真摯に受け止め、原因・事実関係を明らかにし、体制を改善し再発防止に努めます。

また法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取組を図ります。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

ケアプラザでは緊急時（防犯・防災等）に備え、対応マニュアル、連絡網を整備します。緊急事態となった場合には、救助や消防・警察への通報など1次対応を行い、合わせて法人本部を含め情報を共有するとともに、市・区等関係者に連絡し適切に処理します。

防災に対しては消防計画等を策定し、港北消防署の協力を得て、防災訓練を行います。また、訓練当日には貸室利用団体へも参加のご協力をいただき、利用時の災害を想定した訓練を実施していきます。

防犯に対しては、日中は職員が巡回を行い、夜間は機械警備を行います。

また港北区と特別避難場所として協定を締結し、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所としての役割を担います。

防災備蓄庫には、毛布・おむつ・食料品・水等の物資ほか簡易トイレ等を常備し、不備の無いよう定期的に点検し、非常時に備えます。

#### オ 事故防止への取組について

事故の再発防止に向けて、事故が発生したら、法人本部に第1報を入れ、その日のうちに原因を究明・分析し、対応策を検討・実施後報告書を作成し、状況に応じて区と市に報告します。ヒヤットしたときは、ヒヤリハット報告書を作成し予防策を検討し、事故を未然に防止します。

また所内の各種会議で事故及びヒヤリハットを報告し話し合い、職員全体に周知・徹底するとともに事故防止への意識を高めます。

毎月開催される法人内のケアプラザ所長会では、他の事業所での事故の事例を報告し合い共有することで、事故再発防止に努めます。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人では個人情報保護規程を定め、各事業所で個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めています。また法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティ研修を受講し、啓発に努めます。

実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、記録類は施錠できる書棚や机引き出しなどで保管することとし、携帯がどうしても必要な場合には、専用のバックに入れ、紛失や情報漏えいのないよう、個人が特定できないようマスキングを行い管理者に確認を得る等し、最小限の情報のみを携帯するようにします。また、個人情報データはサーバーにて管理し個人情報漏えいには万全を期しています。

#### キ 情報公開への取組について

法人では、横浜市が制定する、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨に基づき、情報公開規程を定めています。

ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、情報公開規程に則り、積極的に情報を公開することに努めます。

またケアプラザのホームページの更新をこまめに行い、各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供します。

#### ク 人権啓発への取組について

法人本部で全職員を対象とした外部講師による人権研修を開催しており、参加した職員を講師としてケアプラザ内で伝達研修を行い、人権意識を高めています。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

環境保護、限りある資源を有効に活用することを意識し、節電、ペーパータオルの廃止・自転車の積極的利用等、日常的に省エネルギー対策を励行します。ゴミの減量化に努め、資源ゴミの徹底した分別収集に協力します。

また植栽のボランティアをお願いし、職員と共に環境保全を行い、環境美化に努めます。

毎年電力消費がピークとなる夏季には、軽装での執務を心がけ、使わない電気はこまめに消し、節電に努めます。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

地域包括支援センター職員 兼務 保健師等2名、主任ケアマネジャー2名  
社会福祉士2名、予防プランナー4名

#### 《目標》

お客様のできることを共に発見し、地域のつながりを維持しながら、有する能力に応じた柔軟な支援を行い、自立意欲の向上に繋げていくよう支援します。

介護予防支援計画は生活機能の低下が生じた原因に対応し、且つ効果がみられるものとしします。

お客様の介護予防支援計画を作成するに当たり、いつまでに達成できるかがわかるように、具体的な目標をたてます。

プラン作成時は、サービスの実施状況や効果を評価し、横浜市介護予防・日常生活支援総合事業も含めお客様、ご家族の要望をお聞きしてサービスの内容の見直しをします。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス地域を訪問・出張する場合の交通費（実費）

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

予防プランナー会議を月1回開催、制度の説明、自立支援を基本として、インフォーマルも含め適切な支援が受けられるよう、事例検討などを行っていきます。

サービス事業所の選択については、公正・中立の立場で、総合的にサービスを調整します。

#### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
400	400	400	400	400	400
10月	11月	12月	1月	2月	3月
400	400	400	400	400	400

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

専任 常 勤：4 名  
非常勤：1 名

兼任 常 勤：1 名

《目標》

各ケアマネが件数を上限まで受け持ち、さらに困難ケースを積極的に担当いたします。地域の方々が住み慣れた地域で自立した生活が送れるように貢献させていただきます。

事業実施に当たっては、関係行政機関、地域の保健、医療、福祉、サービス事業者地域の民生委員、ボランティアグループ等と密接な連携を図り、総合的にサービス提供の調整を行います。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス提供地域を越える地域に訪問、出張する必要がある場合は交通費を徴収いたします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

特定事業所として、法令を遵守し業務を行います。  
毎週1回ケアマネ会議を行い、その内月1回は包括の主マネの参加を得て、事例検討会を開催します。また、他法人のケアマネと定期的に事例検討会を行います。  
毎年ケアマネ実習生を最低4人の受け入れを行います。  
包括主催の地域ケア会議に積極的に出席し、関係行政機関、地域の有識者と情報共有に努めます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。 【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
203	203	203	203	203	203
10月	11月	12月	1月	2月	3月
203	203	203	203	203	203

● 通所介護・認知症対応型通所介護

通所介護

《提供するサービス内容》

- (ア)お客様が自立した日常生活を営むこと及びご家族のご負担を軽減させていただくことを目標に、お客様の心身の特性を踏まえ、お体の状況に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行います。在宅生活継続のためにご希望の方には個別機能訓練を行います。また、ご家族に向けては、利用日の様子や介護医療に関する助言等を連絡帳で毎回報告し、年に1度、家族会を開催し情報交換を行います。
- (イ)事業の実施にあたり、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めます。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

(ア)	1割負担分(日)	2割負担分(日)	3割負担分(日)
(要介護1)	662円	1,323円	1,985円
(要介護2)	782円	1,563円	2,345円
(要介護3)	905円	1,810円	2,715円
(要介護4)	1,030円	2,059円	3,088円
(要介護5)	1,154円	2,307円	3,461円
(イ) 加算(日)			
入浴介助加算	54円	108円	161円
サービス提供体制加算(Ⅱ) 7円		13円	20円
個別機能訓練(Ⅱ) 60円		120円	180円
送迎減算(片道) -51円		-101円	-151円
介護職員処遇改善加算	1ヶ月のご利用単位数の1000分の59に相当する料金		
(ウ) 食費負担	700円		
キャンセル料	400円		

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》 介護予防通所介護と全員兼任です。

生活相談員 4名、介護職員 28名(うち4名は相談員と兼務)、  
看護職員・機能訓練指導員(兼務) 8名、調理員 5名、運転手 6名、事務 1名

《目標》

自立した日常生活を営むことを目標に、お客様の心身の特性をふまえ、その有する能力に応じて、通所介護サービスを提供していきます。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

清潔で安全な入浴、お客様のご意見・ご要望をメニューに反映させたすべて手作りの昼食とおやつその他、行事やレクリエーション等も季節感あふれるプログラムを提供しています。また、ご希望により個別機能訓練を実施し、お一人おひとりの体力に合った計画に基づいて、筋力維持・向上のための体操や歩行訓練を行っています。生活相談員、看護師等が、ご家族やケアマネジャーとの連絡を密にし、より良いサービス提供に繋がっています。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1,005	1,039	1,005	1,038	1,039	1,005
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,038	1,005	972	938	938	1,038

認知症通所介護

《提供するサービス内容》

(ア) 認知症であるお客様が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の入浴・排泄・食事等の介護等及び機能訓練を行うことでご利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持、並びにご家族の身体の負担の軽減を図ることを支援します。また、ご家族に向けては、利用日の様子や介護医療に関する助言等を連絡帳で毎回報告し、年に1度家族会を開催し情報交換を行います。

(イ) 事業の実施にあたり、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めます。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

(ア)	1割負担分（日）	2割負担分（日）	3割負担分（日）
(要介護1)	1,072円	2,144円	3,215円
(要介護2)	1,188円	2,376円	3,564円
(要介護3)	1,305円	2,609円	3,914円
(要介護4)	1,422円	2,844円	4,266円
(要介護5)	1,539円	3,077円	4,616円
(イ) 加算（日）			
入浴介助加算	55円	109円	164円
サービス提供体制加Iイ	20円	39円	59円
個別機能訓練	30円	59円	88円
送迎減算（片道）	-52円	-103円	-154円
介護職員処遇改善加算	1ヶ月のご利用単位数の1000分の104に相当する料金		
(ウ) 食費負担	700円		
キャンセル料	400円		

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

生活相談員 5名、介護職員 22名（うち5名は相談員と兼務）、  
看護職員・機能訓練指導員（兼務）7名、調理員 6名、運転手 6名、事務 1名

《目標》

認知症であるお客様が出来る限り自立した日常生活を営むことを目標に、お客様の心身の特性をふまえ、その有する能力に応じて、認知症対応型通所介護サービスを提供していきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

温かい家庭的な雰囲気の中で、清潔で安全な入浴、お客様のご意見・ご要望をメニューに反映させたすべて手作りの昼食とおやつその他、行事やレクリエーション等も季節感あふれるプログラムを提供しています。また、ご希望により個別機能訓練を実施し、お一人おひとりの体力に合った計画に基づいて、筋力維持・向上のための体操や歩行訓練を行っています。頭の体操や機能訓練ボードによる脳トレに力を入れていきます。

生活相談員、看護職員等が、ご家族やケアマネジャーとの連絡を密にし、より良いサービス提供に繋げています。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
270	279	270	279	279	270
10月	11月	12月	1月	2月	3月
279	270	261	252	252	279

## 介護予防通所介護・第1号通所事業

### 《提供するサービス内容》

- (ア) お客様の心身の特性を踏まえ、そのお体の状況に応じて、入浴・食事等の提供を行います。
- (イ) 事業の実施にあたり、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めます。

### 《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

(ア)	1割負担分（月額）	2割負担分	3割負担分
要支援1・要支援2週1回程度	1,766円	3,531円	5,297円
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	6円	52円	78円
要支援2	3,621円	7,241円	10,861円
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	2円	103円	155円
(イ) 加算			
介護職員処遇改善加算	1ヶ月のご利用単位数の1000分の59に相当する料金		
(ウ) 食費負担	700円		
キャンセル料	400円		

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 10:00 ~ 16:00

《職員体制》通所介護事業と全員兼任です。

生活相談員 4名、介護職員 28名（うち4名は生活相談員兼務）、  
看護職員・機能訓練指導員（兼務）8名、調理員 5名、運転手 6名、事務 1名

### 《目標》

自立した日常生活を営むことを目標に、ご利用者の心身の特性をふまえ、その有する能力に応じて、通所介護サービスを提供していきます。

### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

お客様のご意見・ご要望をメニューに反映させたすべて手作りの昼食とおやつその他、行事やレクリエーション等も季節感あふれるプログラムを提供しています。自立支援の視点に立ち、住み慣れた地域や家で、安心して生活して頂けるよう、定期的に体力測定等を行いながら、体力の維持・向上を図ります。そして健康に過ごせるようお手伝いいたします。

生活相談員、看護師等が、ご家族やケアマネジャー、地域包括支援センターとの連絡を密にし、より良いサービス提供に繋がっています。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	20	20	20	20	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	20	20	20	20	20

平成30年度「横浜市大豆戸地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,174,000		14,174,000	14,174,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0		0	0	0	自動販売機手数料
印刷代			0	0	0	コピー代収入
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	677,071		677,071	677,071	0	
収入合計	18,841,071	0	18,841,071	18,841,071	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,426	0	11,985,426	0	11,985,426	
本俸	8,746,495		8,746,495	0	8,746,495	給与
社会保険料	1,510,997		1,510,997	0	1,510,997	社会保険料
手当計	1,239,661		1,239,661	0	1,239,661	期末手当、通勤手当、超過勤務手当等
健康診断費	34,579		34,579	0	34,579	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	439,438		439,438	0	439,438	退職共済掛金
その他	14,256		14,256	0	14,256	ハマふれんど
事務費	430,000	0	430,000	0	430,000	
旅費	10,000		10,000	0	10,000	出張旅費
消耗品費	71,500		71,500	0	71,500	事務用品等
会議諸費	0		0	0	0	
印刷製本費	36,000		36,000	0	36,000	コピーカウント料
通信費	82,750		82,750	0	82,750	電話料金・郵送費
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	自動販売機手数料
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	資料購入
施設賠償責任保険	19,187		19,187	0	19,187	賠償責任保険
職員等研修費	0		0	0	0	研修費
振込手数料	41,000		41,000	0	41,000	EBサービス・為替手数料
リース料	30,453		30,453	0	30,453	フロアマット等
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	21,000		21,000	0	21,000	社会福祉協議会費等
その他	118,110		118,110	0	118,110	給与計算委託料等
事業費	1,012,000	0	1,012,000	0	1,012,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算：指定額
指定管理料充当 事業	970,000		970,000	0	970,000	事業実施費用
管理費	4,454,810	0	4,454,810	0	4,454,810	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	1,729,885	0	1,729,885	0	1,729,885	
電気料金	567,401		567,401	0	567,401	
ガス料金	448,042		448,042	0	448,042	
水道料金	714,442		714,442	0	714,442	
清掃費	1,379,060		1,379,060	0	1,379,060	日常清掃・定期清掃等
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算：指定額
機械警備費	122,663		122,663	0	122,663	建物警備
設備保全費	749,202	0	749,202	0	749,202	
空調衛生設備保守	457,661		457,661	0	457,661	空調設備保守管理
消防設備保守	25,814		25,814	0	25,814	消防設備保守管理
電気設備保守	85,634		85,634	0	85,634	電気設備保守管理
害虫駆除清掃保守	38,720		38,720	0	38,720	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	141,373		141,373	0	141,373	エレベーター保守管理
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	ゴミ回収費用
公租公課	958,834	0	958,834	0	958,834	
事業所税			0	0	0	
消費税	958,834		958,834	0	958,834	人件費消費税
印紙税			0	0	0	
その他 ( )			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	18,841,070	0	18,841,070	0	18,841,070	
差引	1	0	1	18,841,071	18,841,070	

自主事業費収入	970,000		970,000	0	970,000	
自主事業費支出	970,000		970,000	0	970,000	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市大豆戸地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	39,709,000		39,709,000		39,709,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,541,483		2,541,483	2,541,483	0	
<b>収入合計</b>	<b>48,190,483</b>	<b>0</b>	<b>48,190,483</b>	<b>2,541,483</b>	<b>45,649,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	43,916,293	0	43,916,293	0	43,916,293	
本俸	24,965,794		24,965,794		24,965,794	給与
社会保険料	6,001,271		6,001,271		6,001,271	社会保険料
手当計	11,718,575		11,718,575		11,718,575	期末手当、通勤手当、超過勤務手当等
健康診断費	63,184		63,184		63,184	健康診断料
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	1,118,063		1,118,063		1,118,063	退職共済掛金
その他	49,406		49,406		49,406	ハマふれんど
事務費	560,000	0	560,000	0	560,000	
旅費	27,950		27,950		27,950	出張交通費
消耗品費	55,040		55,040		55,040	事務用品等
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	61,920		61,920		61,920	コピーカウント料
通信費	150,070		150,070		150,070	電話料金・郵送費
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分					0	
その他	0			0	0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	19,189		19,189		19,189	賠償責任保険
職員等研修費	0		0		0	研修費
振込手数料	17,630		17,630		17,630	EBサービス・為替手数料
リース料	13,095		13,095		13,095	フロアーマット等
手数料	0		0		0	
地域協力費	15,000		15,000		15,000	社会福祉協議会費
その他	200,106		200,106		200,106	施設設備委託料・給与計算委託料等
事業費	2,530,000	0	2,530,000	0	2,530,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	1,440,000		1,440,000		1,440,000	予算:指定額
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000		151,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	1,184,190	0	1,184,190	0	1,184,190	
建築物・建築設備点検	0		0		0	予算:指定額
光熱水費	459,851	0	459,851	0	459,851	
電気料金	150,832		150,832	0	150,832	
ガス料金	119,101		119,101	0	119,101	
水道料金	189,918		189,918	0	189,918	
清掃費	366,584		366,584		366,584	日常清掃・定期清掃等
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	32,606		32,606		32,606	建物機械警備
設備保全費	199,149	0	199,149	0	199,149	
空調衛生設備保守	121,655		121,655		121,655	空調設備保守管理
消防設備保守	6,861		6,861		6,861	消防設備保守管理
電気設備保守	22,761		22,761		22,761	電気設備保守管理
害虫駆除清掃保守	10,292		10,292		10,292	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	37,580		37,580		37,580	エレベーター保守管理
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	ゴミ回収費用
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>48,190,483</b>	<b>0</b>	<b>48,190,483</b>	<b>0</b>	<b>48,190,483</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2,541,483</b>	<b>2,541,483</b>	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市大豆戸地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日  
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	11624		11624	39659		39659	157276		157276	6009		6009
	その他	21146	0	21146	2338	0	2338	505	0	505	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	14207		14207			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
		6939		6939			0	505		505			0
				0			0			0			0
	その他			0	2338		2338			0			
収入合計(A)		32770	0	32770	41997		41997	157781		157781	6009	0	6009
支出	人件費	7089		7089	31829		31829	106767		106767			
	事務費	0		0	2039		2039	7311		7311			
	事業費	0		0	810		810	14401		14401			
	管理費	0		0	0		0	11263		11263			
	その他	17933	0	17933	6371	0	6371	24048	0	24048			
	利用者負担軽減額			0			0	0		0			
	消費税			0			0			0			
	介護予防プラン委託料	9618		9618			0			0			
				0			0			0			
	その他	8315		8315	6371		6371	24048		24048			
支出合計(B)		25022	0	25022	41049	0	41049	163790	0	163790			
収支 (A) - (B)		7748	0	7748	948	0	948	0	0	0			

「通所介護」及び「予防通所介護・第1号通所介護」は、一体的に運営のため、支出は「通所介護」及び「予防通所介護・第1号通所介護」の合算。

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スリーA教室	<p>【対象者】 地域住民・高齢者</p> <p>【目的】 「あかるく、あたまを使って、あきらめない」認知症予防のゲームを行い、地域の方々に広く認知症の理解と予防を広めていく。</p> <p>【実施内容等】 頭・指・身体を使う認知症予防の体操</p>	月2回 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まめゆるーむ	<p>【対象者】 介護保険サービスを使っていない高齢者</p> <p>【目的】 地域の高齢者が気軽に集まり、仲間との相互のふれあいを通じて楽しみや心に張りを持てる機会の提供。体操やレクリエーションをする事で身体を動かしたりストレッチにより介護予防を目的に開催。</p> <p>【実施内容等】 体操・脳トレ</p>	月1回 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新横浜 スクエアステップ	<p>【対象者】 地域住民・高齢者</p> <p>【目的】 頭を使いながら身体を動かすことで認知症予防、介護予防を目的に開催。また、地域の方が気軽に集まりコミュニケーションをとることで楽しみが持てる機会の提供。</p> <p>【実施内容等】 マス目状のマットを歩いて介護予防、転倒予防</p>	月1回 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まめどのサロン	<p>【対象者】 地域住民・高齢者</p> <p>【目的】 地域住民がいつでも気軽に立ち寄れ、楽しむことができる集いの場・通いの場として運営する。介護予防を兼ねた集いの場として、地域が主体となって支え合いが継続できる居場所をつくる。</p> <p>【実施内容等】 習字・囲碁・麻雀・切り絵・絵手紙・トランプ等</p>	月1回 年12回

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
自立したおとこの料理教室 (OB会)	<p>【対象者】 高齢者・地域の男性</p> <p>【目的】 参加者同士仲間作りのきっかけになりように、またボランティアになってもらえるように声を掛けていく。</p> <p>【実施内容等】 料理、昼食</p>	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア向けスマートフォン講座	<p>【対象者】 地域住民・高齢者</p> <p>【目的】 家族や仲間にもメールを通して交流をとれるようにしていきたく。孤立する高齢者を減らしていきたい。</p> <p>【実施内容等】 講師を頼み、スマートフォンの基本的な操作メールの仕方等</p>	月1回 年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヨガ教室	<p>【対象者】 地域住民・高齢者</p> <p>【目的】 身体を動かしたり、ストレッチにより介護予防の目的。ふれあいを通じて楽しみや心に張りがある機会の提供。</p> <p>【実施内容等】 ヨガ</p>	月1回 年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ストップ！消費者被害！落語でわかりやすく	<p>【対象者】 地域住民・高齢者</p> <p>【目的】 落語で分かりやすく、消費者被害について伝え、消費者被害を予防する。</p> <p>【実施内容等】 落語による講座</p>	年2回

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大倉山 ささえあいまつり	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 大倉山地区主催の事業。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ特製メニューの「まめっち丼」の販売、ケアプラザで主催する事業の周知を行う。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぐーびー	<p>【対象者】 個別支援級に通う小学4～中学3年生</p> <p>【目的】 障がい児を対象とした放課後余暇支援を行い、地域住民からなるボランティアとの交流を図り、社会規律等を学ぶ機会とする。</p> <p>【実施内容等】 工作、ゲーム、おやつ作りなどのレクリエーション。季節に応じた正月遊びやクリスマス会なども行う。</p>	月1回・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママとハグハグ	<p>【対象者】 4か月から1歳未満の乳幼児とその保護者</p> <p>【目的】 1歳未満の乳幼児と保護者同士の交流を図る。また、乳幼児ならではの悩みや、地域に関する情報交換を積極的に行えるサロンとして開催。</p> <p>【実施内容等】 手遊びや絵本の読み聞かせ、遊び場や地域情報などの座談会等</p>	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まめっこくらぶ	<p>【対象者】 8か月以上の乳幼児とその保護者</p> <p>【目的】 同じ地域で生活する子育て世帯同士の交流を図るとともに、母親自らイベント、講座の希望を挙げ、参画意識や当事者を持ってもらうことで、将来の担い手となり得る人材の育成を図る。</p> <p>【実施内容等】 参加者のアンケートを基に、ボランティアや子育て支援を行う方を講師に、参加型のイベントを開催する。</p>	月1回・年12回

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひとつぶの会	<p>【対象者】 ボランティア活動を行う地域住民</p> <p>【目的】 ケアプラザや地域で活動するボランティア同士の交流会及び勉強会、施設見学などを行い、ボランティアの育成、資質向上を図る。</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ自主事業へのボランティア依頼、福祉関連施設見学の企画・実施</p>	毎月1回・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく市	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 らくらく市実行委員会主催事業。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p>【実施内容等】 健康チェックコーナーの実施、地域住民に向けたケアプラザの周知、自主事業の広報を行う。</p>	5月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どろっふデー	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 地域子育て支援拠点主催事業。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ特製メニューの「まめっち丼」の販売、地域ケアプラザの周知、自主事業の広報を行う。</p>	6月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
聞き書き講座	<p>【対象者】 小学生</p> <p>【目的】 高齢者との異世代交流の場として実施する。</p> <p>【実施内容等】 高齢者からの話を聞き取り、それを作文にする。文章作成の講師による構成・添削指導も行う。</p>	6月～7月・ 全4回

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み自由工作教室	<p>【対象者】 小学生</p> <p>【目的】 小学生のケアプラザ来館機会の創出を図る。小学生およびその保護者へのケアプラザ周知。</p> <p>【実施内容等】 夏休みの宿題対策を目的に、木の実や木材を使用した作品を製作する。</p>	8月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
職業体験	<p>【対象者】 港北区内の中学校 個別支援級在籍の生徒</p> <p>【目的】 夏休み期間を利用して、就労を希望する障がい児（中高生）に職業体験の場を提供、当事者家族へ住み慣れた地域にある就労施設を知ってもらい、地元へ愛着をもってもらおう。</p> <p>【実施内容等】 菊名地区にある就労支援施設のカフェにて、一日店員を体験する。</p>	8月・年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ワクワクまつり	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 港北区国際交流ラウンジと共催。地域住民との交流を図り、地域ケアプラザと国際交流ラウンジをより良く知ってもらう。</p> <p>【実施内容等】 。地域団体、関係団体に模擬店、ステージ出演などに出演協力を得る。ケアプラザでは、特製「まめっち丼」を販売する。</p>	10月14日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウォータープラザまつり	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 横浜市水道局主催。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ特製メニューの「まめっち丼」の販売、地域ケアプラザの周知、自主事業の広報を行う。</p>	10月・年1回

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
3R夢まつり	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 資源循環局主催。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ特製メニューの「まめっち丼」の販売、地域ケアプラザの周知、自主事業の広報を行う。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども食育教室	<p>【対象者】 小学生</p> <p>【目的】 小学生対象の事業を実施することで、小学生およびその保護者に向けて、ケアプラザの周知・広報を行う。</p> <p>【実施内容等】 ヘルスマイトを講師に、小学生でも作れる食事・軽食の調理、栄養に関する講座を行う。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで一緒に ○○	<p>【対象者】 乳幼児とその両親</p> <p>【目的】 地域及び家族間同士の交流を図る機会を提供する。保護者（両親）への参加促しにより、当該の世代に対してのケアプラザ周知を図る。</p> <p>【実施内容等】 8月水遊び、12月クリスマス会を実施。家族紹介やグループに分かれての交流を行う</p>	8月、12月・ 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども書き初め 教室	<p>【対象者】 小学生</p> <p>【目的】 居場所と日本文化学習の場を提供しケアプラザに足を運んでもらう。ケアプラザの周知、児童同士の交流を図る。</p> <p>【実施内容等】 書道講師による冬休み課題の書道の添削、指導を行う。</p>	12月・ 年1回

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア講座	<p>【対象者】 地域住民、ボランティア活動を希望する方</p> <p>【目的】 福祉施設や地域活動の担い手となる支援者の育成と新規獲得を図る。</p> <p>【実施内容等】 シニアボランティアポイントの登録研修会、認知症サポーター養成講座、ボランティア講座（傾聴・活動場の見学など）を連続講座で開催する。</p>	連続講座

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	<p>【対象者】 ボランティア</p> <p>【目的】 ボランティア同士の交流会および感謝会（昼食会・コンサート）</p> <p>【実施内容等】 ボランティア同士の交流、昼食会、ミニコンサートの開催等</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大豆戸・新横浜地区 地域出張講座・出張相談会	<p>【対象者】 地域住民・民生委員</p> <p>【目的】 大豆戸・新横浜地区における普及啓発の必要性のあるものの講座を開催し、広く知っていただくとともに地域ケアプラザを知っていただく。 出張相談会を合わせて開催し、問題の早期発見に取り組む。 民生委員との連携強化。</p> <p>【実施内容等】 認知症サポーター養成講座・消防講座・消費者被害予防講座・成年後見講座</p>	各地区年約3回 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
法テラス	<p>【対象者】 高齢者・障害者・低所得者・生活保護など</p> <p>【目的】 弁護士による無料相談会により、弁護士料金に不安のある方でも法律相談の機会を設ける。</p> <p>【実施内容等】 1組30分程度の相談時間を設け、弁護士との1対1での相談会</p>	年1回

# 平成30年度 自主事業計画書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
行政書士無料相談会	<p>【対象者】 高齢者・障害者・地域住民</p> <p>【目的】 行政書士による無料の法律相談の場を設け、成年後見制度や相続などの相談の場を設ける。</p> <p>【実施内容等】 1組30分程度の相談時間を設け、行政書士との相談会。 1回3組を3クール行う予定。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
篠原北・菊名・大倉山地区 成年後見制度講座	<p>【対象者】 地域住民、民生委員</p> <p>【目的】 成年後見の普及啓発。 大豆戸地域ケアプラザを知ってもらう。 合わせて出張相談会を行い、問題の早期発見を図る。</p> <p>【実施内容等】 成年後見制度の講座と出張無料相談会を行う。</p>	各地区1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数





# 平成30年度 自主事業収支予算書

## 横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
シニア向け スマートフォン講座	①地域住民・高齢者	45000	地活	45000		45000			
	②90人		包括						
	③500円		介護						
			生活						0
ヨガ教室	①地域住民・高齢者	84480	地活	8000		80000		4480	
	②160人		包括						
	③50円		介護						
			生活						76480
口腔講座	①地域住民・高齢者	8000	地活			8000			
	②20人		包括						
	③無料		介護						
			生活						8000
ストップ！消費者被害！ ～落語でわかりやすく～	①地域住民	16000	地活	8000		10000		6000	
	②20人		包括						8000
	③無料		介護						
			生活						8000
大豆戸・新横浜地区 地域出張講座・相談会	①地域住民・民生委員	0	地活	0					
	②20名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
法テラス	①地域住民	0	地活	0					
	②3名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
行政書士無料相談会	①地域住民	0	地活	0					
	②9名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
篠原北・菊名・大倉山地区 成年後見制度講座	①地域住民・民生委員	0	地活	0					
	②20名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						